

(資料2)

平成19年4月11日
京阪電気鉄道株式会社

- さらなる安全・安心・円滑な運行管理をめざして -

列車運行管理システムを更新します

～システム対象駅の発車メロディー。つなげて聞くと1つの曲に！～

京阪電気鉄道株式会社では、昭和62年12月から京阪線（京阪本線・鴨東線、交野線、宇治線）におきまして、自律分散式列車運行管理システムを稼働してまいりました。このシステムは、列車の動きや列車ダイヤ情報に基づき、ポイント（転てつ機）や信号機、駅の案内放送などを自動的に制御するものです。運転指令に中央処理装置を、また各信号取り扱い駅（制御駅）に駅制御装置を分散配置し、これらを二重の光ファイバーケーブルでループ状に接続しています。これにより、万一故障が発生してもその範囲を最小限度にとどめることができ、全線、全駅が制御不能に陥ることがないという信頼性の高いシステムを構築しています。

今般、さらなる安全と円滑な運行管理をめざし、工事費用約21億円を投じて京阪線の列車運行管理システム更新と、変電所を制御している電力管理システムの中央装置更新を行います。なお、両新システムは平成20年度内に開業する中之島線にも対応しており、サービス面や運用面でも従来システムより充実した内容となっています。

列車運行管理システムの更新に関する概要は以下のとおりです。



1. 更新予定日 平成19年6月中旬頃

2. 対象路線 京阪線全線 66.1km (京阪本線 49.3km)
 (鴨東線 2.3km)
 (交野線 6.9km)
 (宇治線 7.6km)

3. 駅制御装置 18箇所

4. 工事費用 列車運行管理システム 1,720百万円
 (中央装置、駅制御装置)
 電力管理システム 420百万円
 (中央装置)

5. 新旧比較(抜粋)

項目		現装置	新装置	
サービス面	駅案内放送 (自動放送)	<ul style="list-style-type: none"> 列車通過放送 列車接近放送 列車出発放送 	<ul style="list-style-type: none"> 列車通過放送 列車接近放送(機能充実) 列車到着放送(新設) 列車出発放送(変更) 	
	行先表示		<ul style="list-style-type: none"> 乗車位置表示(新設) 臨時種別表示(新設) 	
運用面	ダイヤ管理	ダイヤ種別	15種類	19種類
		列車種別	9種類	24種類
		列車本数	2,048本	3,072本
	終夜運転機能		無	(新設)
	指令員訓練装置		無	(新設)
	情報配信システム		無	(新設)

6. 主な新機能

サービス面

駅案内放送

列車接近放送：現装置の「到着番線」「種別」「行先」「両数」に加え、「乗車位置」を放送します。

列車到着放送：到着時、新たに「到着番線」「種別」「行先」「次の停車駅」を放送します。

列車出発放送：現装置の発車音に変え、新たに**発車メロディー**（別紙参照）を流します。

行先表示

乗車位置表示：現装置の「両数」に加え、「扉数」「乗車位置」を表示します。

臨時種別表示：臨時列車に対して臨時である表示を行います（時刻表にはない臨時列車である旨を周知）「臨時特急」「臨時急行」など。

この機能はLED方式の行先表示器に限ります。フラップ式行先表示器（表示板がクルクルと回転するタイプ）は未対応。

ただし、今後2カ年で京阪線全線の行先表示器を全てLED方式に更新予定。

現在：LED式行先表示器（14駅） フラップ式行先表示器（12駅）

運用面

終夜運転機能（今回新設）

日頃は運転しない終夜時（深夜～早朝）でも、運行管理の連続性を確保することが可能になります。

指令員訓練装置（今回新設）

本装置は19年度内に設置予定。
運転指令員の教育を充実したり、改定ダイヤを検証することが可能になります。

情報配信システム（今回新設）

京阪線全駅のパソコンで運行状況が確認可能になります。これに伴い、ダイヤ乱れ時など、お客さまへの情報提供サービスの向上を図ることが可能になります。

(別紙) 新たに導入する発車メロディーについて

全体コンセプト

駅を通勤・通学、レジャーなど「生活の1シーン」ととらえます。
そこで、これまでの発車メロディーが目的としていた「乗車督促」とは一線を画し、一步リードした駅環境の実現をめざします。

個別コンセプト

【京都方面行き】特急

京都へ向かう列車を想起させるため、琴の音色を用いて「京風」を訴求。
ゆったりと優雅な感じを演出。

【京都方面行き】通勤

3拍子のワルツ調で、軽快な感じ。一部、琴の音色を用いて、「京都感」も演出。

【大阪方面行き】特急

都会へ向かうイメージを押し出し、リズムカルで都会的な感じを演出。

【大阪方面行き】通勤

都会的な音色で3拍子のワルツ調。街へお出かけするイメージの楽しい感じを演出。

以上、4パターンの発車メロディーを今回新たに導入します。対象となる駅は京阪線17駅。上記コンセプトに従い、各駅すべて異なる発車メロディーが流れます。しかも、それらをつなげて聞くと1つの曲になるという画期的な試みも盛り込んでいます。

対象駅 中之島線開業時には、中之島駅も対象。

淀屋橋、天満橋、京橋、守口市、萱島、香里園、枚方市、樟葉、八幡市、淀、中書島、丹波橋、深草、三条、出町柳、私市、宇治(全17駅)

制作者紹介

フュージョン・バンド「カシオペア」のキーボーディストである「向谷 実」(むかいやみのる)氏。向谷氏は九州新幹線の発車メロディーや車内メロディーも制作。また、(株)音楽館代表取締役を務められ、ゲームソフト「Train Simulator」やプレイステーション3向けソフト「Railfan」の制作でも当社と深く関わっています。

以上